

# いきいきマイスクール インとちぎの実践

足利市立第一中学校

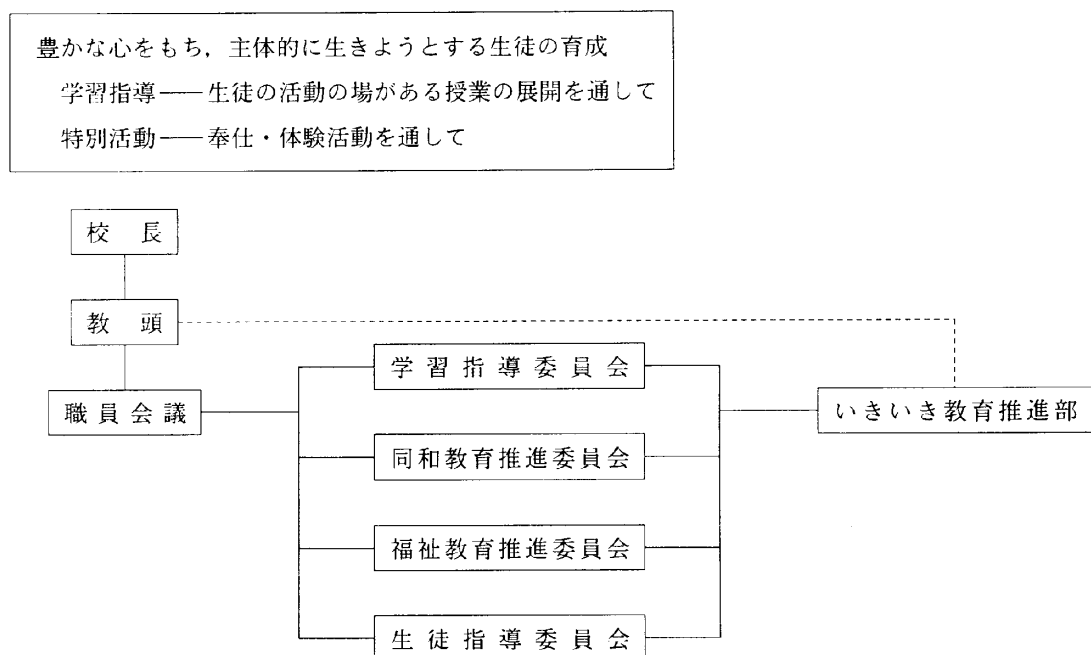
## 1. はじめに

本校では、平成5年度から高齢者福祉教育推進校に指定されたことにより、心の指導に重点をおいた高齢者福祉教育の実践研究を進めてきた。しかし、本当に心の指導は十分になされたか。生徒一人ひとりが思いやりの気持ちが持てるようになったか。教師がわの自己満足に過ぎないのではないだろうかといった疑問が教職員のあいだでなされた。いじめや不登校生徒の存在からも心の指導の不十分さをうかがわせた。

そこで、もう一度教育の原点に戻って生徒のことを考えてみてはどうかという意見も出された。このような背景から、昨年度4月に「豊かな心を持ち、主体的に生きようとする生徒の育成」という研究主題が設定された。そして、「奉仕・体験活動を通して」という副題を設定し、福祉教育関係の奉仕・体験活動をメインに据えて実践活動をしてきた。生徒会主催のクリーン運動やJRC委員会主催の友愛訪問・老人ホーム訪問などが主な活動例である。

平成8・9年度の2か年にわたり、栃木県教育委員会から3あい運動第2ステージ「いきいきマイスクール インとちぎ」の推進校に指定された。そこで今年度は、さらに生徒が授業の場でも主体的に活動できるような研究をすべきではないかという提案がなされた。学校生活の中でかなりの時間を占める授業。その授業が退屈で意欲の見られないものであったなら、いきいきとした学校生活は送れない。これまでの副題に加えて、新たに学習指導の副題「生徒の活動の場がある授業の展開を通して」をもうけ学習指導の改善に取り組むことにした。

## 2. 学校課題と研究組織・課題解決の手立て



上記のように、特別活動の副題をこれまでの「奉仕・体験活動を通して」とし、さらに学習指導の副題を「生

徒の活動の場のある授業の展開を通して」とした。さらに、豊かな心を育むためには、道徳教育の充実や同和教育、学級経営の充実を図るとともに、3あい運動を進めるにあたって、地域とのつながりが大切である。地域に開かれた地域に根ざした学校づくりを進めなくてはならない。そこで、具体的にこの学校課題を解決するために次のような手立てを考えた。

## (1) 奉仕・体験活動

### ア 特別活動の充実

#### (ア) 学級活動

友愛訪問の実施とその準備、福祉講演会の開催  
進路指導の充実——職業や高校調べを実施し目標をもたせる。  
性に関する指導の研究——思春期の悩みの解消

#### (イ) 生徒会活動

生徒の自主的運営を進めるような援助指導  
生徒会行事において、評議員にはクラスへの連絡の徹底  
友愛訪問の準備・運営老人ホーム訪問の準備・運営  
クリーン活動の準備・運営

#### (ウ) 学校行事

運動会へのお年寄りの招待の準備・運営

### イ 関係諸機関との連携

生徒に高齢者福祉の現状を知らせる。(地域のお年寄りの方を招いて)  
ボランティアスクールへの参加  
地元公民館との連携——地域文化祭等への参加、公民館主催の学習講座を学校で開催

## (2) 教科指導

### ア 一人一人の学習の成立

分かる授業を展開する。  
一人一人が活動の場のある授業の工夫に努める。  
一人一人の関心・意欲を把握する座席表の工夫に努める。  
自己評価の場を設定し、自らのよさに気づかせる工夫に努める。  
教科の指導法研究を展開する。

### イ 学習指導要領の研究と実践

関心・意欲・態度を高める指導及びその評価の仕方の研究に努める。

## (3) 道徳教育

### ア 思いやりの心の育成

道徳的価値の見直しを図る。  
奉仕・体験活動と道徳の授業との関わり合いを研究する。  
視聴覚教材の導入や指導法の改善に努める。

### イ 道徳的実践力の育成

奉仕・体験活動を効果的に取り入れ、道徳的実践力を高める指導を工夫する。

## (4) 同和教育・学級経営

### ア 同和教育の充実

配慮生徒の抽出とその個別指導に努める。

授業研究を実施し、研究を深める。

被差別体験者の方を招いて話を聞き、差別の実態を把握する。

保護者啓発に努める。

#### イ 学級経営の充実

定期的に2者相談を実施し、生徒の悩みを解決する。

グループ活動の活性化を図る——班長会議、係長会議を随時開く。

学習・生活記録ノートを活用し、生徒理解に努める。

#### ウ 「場を正し、礼をつくし、時を守る」の実践

教室の整理整頓に努め、清掃等を生徒と共に実践する。

明るいあいさつを心掛け、正しい言葉遣いの実践に努める。

チャイムの前に行動開始（チャイムとともに授業を開始）を励行する。

5分前行動に努める。

集会時には無駄話をなくす。

### (5) 地域に根ざした、地域に開かれた学校づくり

#### ア 地域人材の活用

地域に在住する特別な技能をもつ人とのTT授業の実施

#### イ 織姫公民館との連携

公民館活動を学校で開催してもらい、生徒と交流の場をもつ。

地域文化祭への生徒作品の出品による交流

## 3. 奉仕・体験活動実践例

### (1) 友愛訪問

#### ア 目的

学区内の一人暮らしのお年寄り宅を訪問し、一緒に話をしたりゲームをしたりしてお年寄りとの交流を図る。

#### イ 活動内容

##### (ア) 事中の活動

① 期 日 平成8年6月10日(月) 午後3時から5時まで

② 場 所 各該当者宅

③ 参加者 3年生82名 2年生70名 学級担任5名

#### ④ 内 容

4月12日(金) 名簿作成(年度当初学区内の民生委員にお願いし、70歳以上の一人暮らしのお年寄り宅を調べてもらう)

4月12日(金) マリーゴールドの苗をJRC委員が鉢に植栽

5月29日(木) 福祉講演会(清明苑、吉田先生の講話)

6月3日(月) グループの班編成(学級の生活班を利用する)

6月4日(火) JRC委員による宛名書き

6月5日(水) 町内別生徒会によりお年寄り宅に手紙の配布

6月6日(木) 返事の回収

6月7日(金) お年寄り宅訪問、班編成の決定

6月10日(月) 生徒集会で高齢者宅訪問の諸注意

6月10日(月) 花束、マリーゴールド鉢を持参し高齢者宅訪問を実施

〈訪問の諸注意〉

- \*訪問宅の確認                      \*訪問先での話の内容
- \*訪問時間の確認                    \*終了の確認

放課後、各班で決められた集合場所に、決められた時間に用意してきた手づくりのお菓子やお土産などを持ち、各該当者宅を訪問する。また、生徒会より花束、JRC委員よりマリーゴールドの鉢を持参した。

生徒は、お年寄りから昔の話（戦争、古い町足利、昔の遊び等）を聞いたり一中の様子を話したり、お年寄りとの簡単なゲームをしたりして楽しい一時を過ごした。中には、尺八を教えてくださいとおじいちゃんもいて楽しく過ごした班もある。また、昔の古いお金なども見せていただき生徒も感激した。

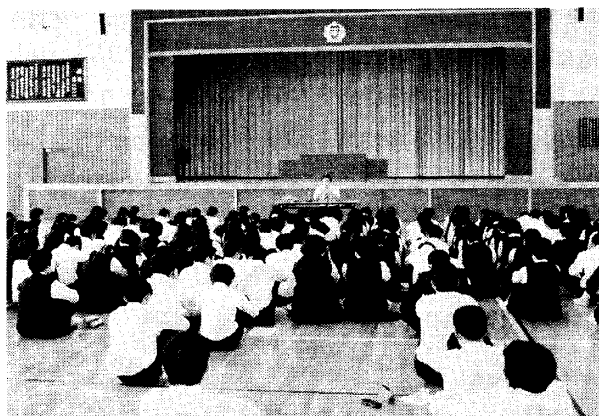
(イ) 事後の活動

各班で訪問した後、反省用紙に記録し次回の資料とする。

(ウ) 生徒の感想

数人で班を作り、訪問のためにみんなで計画を立てました。訪問宅の場所を調べたり、話すことを考えたりしました。いよいよ訪問する日がきました。前日に同じ班の人たちとプレゼントを持って、ドキドキしながらおばあさんの家を捜しました。その間、私は不安で仕方ありませんでした。私は深呼吸をして玄関のチャイムを押しました。元気そうな声がして、おばあさんが出てきました。やさしそうなのでひと安心しました。前もって考えていた話もすっかり忘れてしまい、3分ぐらいみんなで黙ってしまいました。しかし、おばあさんが楽しい話をしてくれたので、私たちもリラックスして話げできました。

明るく生きていくおばあさんの姿を見て、これからも長生きしてほしいと思いました。また遊びに行きたいと思いました。



福祉講演会  
特別養護老人ホーム清明苑 吉田先生



友愛訪問の様子 3年生

(エ) お年寄りからの手紙

拝啓

毎日蒸し暑い日が続いておりますが 皆様いかがお過ごしでしょうか。お礼のお便りをするのが大変遅れてしまいましたが、筆不精でつつい手間取ってしまいました。先日、10日でしたか実家のある家富町で実母が、独りで暮らしていますが、毎年一中の生徒さんが訪問して下さるとのこと、とても楽しみにしていて、翌日、私にうれしそうに話してくれました。

男女3名ずつ6名の生徒さんが来てくれて、思い出話や、今の子供たちの様子や面白い話に時間の経つのも忘れてしまったとそれはそれはよろこんでおりました。母がお礼の手紙をお出しすべきですが、替って私がお礼の手紙を出させていただきました。又、文化祭などにも、毎年食券を添えてご招待下さっているとのこと、本当に有難うございました。

私も一中の卒業生ですが(30年も前です)本当に誇らしく思っております。どうぞ、生徒さんに感謝の気持ちをお伝え下さいませ。

末筆ながら貴校の発展を心よりお祈り致します。

## (2) クリーン運動

### ア 目的

- ・クリーン運動を通して地域との結びつきを高める。
- ・いきいきマイスクール イン栃木の趣旨を生かし、生徒会の自主的運営を活発化させ、生徒たちの生活改善や自主的な参加をする態度を育てる。

### イ 実施経過

- ・生徒会会長の公約 地域の中に出て一中をアピールし、また役立ちたい。

↓

#### ク リ ー ン 運 動 の 方 向

- ・生徒会本部役員での話し合い 原案の作成
  - ↓
  - ・クリーン運動の目的と方法
  - ・実施日の決定←職員会議から(6月27日(木))
- ・評議委員会(各クラスの代表) クリーン運動実施案の承認
  - ↓
- ・生徒総会(6月13日) 承認
  - ↓
- ・評議委員会(6月24日) 目的と内容を検討し、実施方法をクラスに連絡するように伝達する。ごみ収集袋を渡す。クラスでは短学活で評議員が伝達。
  - ↓
- ・実施日(6月27日) 2:00開始 生徒会でのあいさつ、注意。学年ごとに出発。
  - ↓
  - 3:30終了(現地解散)
- ・生徒会本部での反省会

### ウ 実施細目

場 所 1年 足利公園 2年 織姫公園 3年 ホワイトパレス周辺

実施方法 目的地まで学年ごとにごみをひろいながら行く。そして目的地についたら、班ごとにごみをひろう。(生徒会本部役員は目的地と経路の下見。生徒会顧問は市の市民生活部クリーン対策課との連絡)

当日は、クリーン対策課から配られた袋を生徒全員に配布して、分別してごみを拾う。生徒会本部役員が現地でごみをさらに分別し、収集する。そして指定された場所にごみを置く。

### エ 生徒会本部役員の反省

- ・生徒会のあいさつのところで段取りが悪かった。司会の進行は円滑にする。声を大きくはっきりいうほうがよかった。リハーサルをしっかりとやろう。

- ・計画の段階で生徒総会のあと余り日程が取れなかったので忙しかった。
- ・目的地に行くまでの経路では、あまりごみが落ちていなかった。次回は目的地まで行ってそこからごみ拾いをしたほうが良い。
- ・ごみ拾いが終わる前にごみの収集車が来てしまったので連絡をしっかりとろう。

※1回目の反省を生かし、2回目のクリーン活動を11月28日に実施した。方法は上記と同様であったが、ごみの分別方法が大きく変わり、3種類に分ける必要があった。また、市のクリーン対策課でもらった袋は数が足りなくなったので、生徒が各自で持参して実施した。そして2回目は行くまでの経路にごみがなかったことから、学年ごとに目的地までまず行って、そこでごみ収集を実施した。



クリーン運動 織姫公園



クリーン運動 ゴミの分別

#### 4. 教科指導実践例〈2年社会・歴史的分野〉

##### (1) 授業について

- ア 小 単 元 名 明治維新
- イ 指 導 計 画 略
- ウ 目 標 略
- エ 指 導 観

(ア) 何をどのように学ぶかという主体的な学習の仕方を身につけさせたい。

学習課題を授業の1時間ごとに設け、本時では、どんなことを学習するのかを確認させ、動機づけをおこないたい。また、授業の導入時などに教科書、資料集の挿絵やパネル、ビデオなどの視聴覚教材を利用し、生徒の関心を高めたい。

(イ) 一人一人の生徒の個に応じた学習の成立を図りたい。

作業用紙や作業ノートを利用し、個別学習を成立させ、生徒一人一人の作業の進路を把握し、机間指導をしていきたい。特に学習に遅れがちな生徒には配慮し、援助を加えていきたい。また、作業用紙や作業ノートを授業後に確認して指導していきたい。課題学習や意見を出し合う学習内容では、班活動を取り入れ、生徒が調べたり、発表したりするような場面をつくっていきたい。

(ウ) 一人一人の生徒の個性をいかしたい。

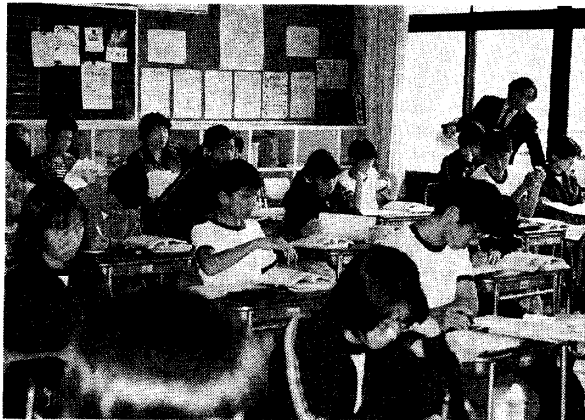
それぞれの生徒が授業において、自分にとって一番良いと思う学習のやり方を持っている。だから、1時間の中でも、いくつかの授業方法を取り、生徒がそれぞれ意欲的に取り組めるような場を設定し、活躍できるよう工夫していきたい。

(エ) 基礎的・基本的な内容を身につけさせたい。

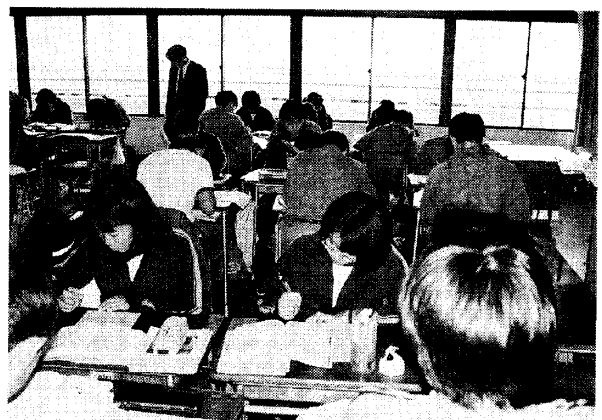
社会的事象の語句の抵抗をとりのぞくために、教科書の全員音読を心掛けている。生徒が読めない語句に読みが名を付けたり、読んでいて読みづらいところは、声が小さくなるので、教師側で読み方を教えたい。また、教科書などから調べたりする個別学習の後、周りの生徒同士で互いに確認させ、その後の発表に自信をもたせ、やる気を出させたい。

#### オ 本時の指導

- (ア) 題 目 明治の新政
- (イ) 目 標 略
- (ウ) 展 開 別紙
- (エ) 生徒の実態 別紙



社会科の授業（一斉学習）



社会科の授業（班別学習）

## (2) 授業研究

今回の授業は、教師の指導観の転換を求めるものである。学級の生徒はどのような学習を欲しているか生徒理解の研究である。そのために、一人一人の生徒を理解しなくてはならない。

資料（別紙）にあるように座席表を効果的に使って生徒理解をはかる。生徒の活動の時間をできるだけ取れるような授業を目指すということで共通理解がはかれた。生徒に学び方を学ばせる学習の展開に力点をおいていこうということで共通理解をはかった。

学び方の分かる授業の設定が生徒に主体的な活動を促す。その点で今回の授業は成功であったが、小集団学習の場面の設定や生徒理解の方法など今後課題を残した。

(ウ) 展 開

生徒の活動	時間	教師の活動(支援)
<p>1 新政府が目指した国づくりについて発表し、本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>中央集権化を進めるために、どのような改革をおこなうような問題が残っただろう。</p> </div>	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前時の復習から、新政府が目指した天皇中心の中央集権国家建設の構想を想起させ、本時の学習する内容に関心を持たせるよう課題を確認する。</li> </ul>
<p>2 廃藩置県の内容を調べ、作業用紙に書き、発表する。</p> <p>個別学習を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 版籍奉還とは、どんなことか。</li> <li>・ 廃藩置県とは、どんなことか。</li> </ul> <p>どんな内容 いつ その結果は</p>	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全員で教科書を読み、よく読めない語句を教える。</li> <li>・ 版籍奉還により形式的に中央の国家になったことに気づかせたい。</li> <li>・ 廃藩置県により、中央集権国家になったことが、教科書からまとめられるように机間指導をする。また、調べたことを席の近くの生徒同士で互いに確認するよう指示する。</li> </ul>
<p>3 四民平等の内容を教科書で調べ、作業用紙に書き、発表する。</p> <p>個別学習を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 四民平等により江戸時代の身分制度はどうなったか。</li> <li>・ 差別が残った理由は何か。</li> </ul>	22	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 班別になることを指示し、時間配分を気をつけるように指示する。</li> <li>・ 机間指導をしながら、生徒の進み具合を確認する。</li> <li>・ 四民平等の政策により、封建的な身分制度が廃止され、法的に自由が認められたことを明確に押えておきたい。</li> <li>・ 実質的には、新しい身分ができたことも、作業用紙をもとに確認する。</li> <li>・ 華族、士族には公債が与えられたこと、平民は名字が許され、結婚、住所、職業の自由が認められたことがまとめられるように机間指導をする。</li> <li>・ 政府が、えた・ひにんとされた人々に対し、人権回復や生活向上のための政策を実施しなかったことと同時に、人々の差別意識を変えることが難しくなったことを補説によりしりしり押えたい。また差別された人々が、差別をなくす運動を起こしていくことも押えておきたい。</li> <li>・ 発表の時は一斉指導とする。</li> </ul>
<p>4 本時の学習でわかったことや考えたことを作業用紙に、個別にまとめる。</p>	8	<p>◎教師の補説</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>えた・ひにんの身分とされた人々は、身分解放令により制度上の平等を得た。しかし、それまでの生活を支えてきた仕事でも利益の大きいものは資本家に奪われ、教育費や兵役の負担も加わったので、今まで以上に生活に苦しむようになり、差別が根強く残ってしまった。それは、政府が人権回復や生活の向上を図るための基本的な政策を実施しなかったためであった。</p> <p>しかし、身分解放令を支えに村祭りへの参加や用水の利用など同じ扱いを求め、差別をなくし、人権を獲得するたための運動を起こすようになった。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本時の授業でわかったこと、考えたこと、感じたことを自由に記述させ、まとめとする。</li> <li>・ チェックカードもまとめるように指示する。</li> </ul>



教 卓

(ア) 生徒の実態

<p>1 〇 2 歴史 3 ビデオを見る 4 先生の話聞く 5 髪形服装 6 文明開化などなく 7 授業中挙手をし、意欲的に取り組む。</p>	<p>1 △ 2 地理 3 ビデオを見る 4 先生の話聞く 5 文明開化などなく 6 地理に興味をもっている。学習が遅れがちな生徒である。</p>	<p>1 〇 2 地理 3 先生の話聞く 4 外国と貿易ができてきたようになった 5 明治維新どう変わるか興味がある 6 教科書を読むときは、大きな声で読んでいます。</p>	<p>1 〇 2 歴史 3 先生の話聞く 4 差別が少なくなってきた 5 明治維新新選組が好きだから 6 授業は意欲的で、わかっただことを発言する。</p>	<p>1 〇 2 地理 3 ビデオを見る 4 外国との関係が深くなくなった 5 文化のような文化がおこったのか知りたい 6 授業は積極的で、世界の国々や日本の地域の農業や経済に興味をもっている。</p>
<p>1 〇 2 歴史 3 発表ができる授業 4 西洋の影響を受ける 5 廃藩置県として藩がなくなってきたのか 6 授業は意欲的で、問題も真剣にやります。指さされて答えるのが好き。</p>	<p>1 〇 2 地理 3 班で調べる 4 文明開化 5 人々の生活どういう生活をしてきたか知りたい 6 地理の授業では積極的に発言したりする。</p>	<p>1 △ 2 地理 3 班で調べる 4 時代が変わる 5 人々の生活 一番簡単そうだから 6 ノートを書ききれいにまとめている。</p>	<p>1 〇 2 歴史 3 班で調べる 4 外国の文化を取り入れる 5 徴兵令昔の兵隊のことを知りたい 6 戦争のことに興味をもっている。疑問に思うとすぐ質問をする。</p>	<p>1 △ 2 歴史 3 自分で調べる 4 時代が変わった 5 四民平等な人となんとなん楽しそうだから 6 あまり目立たないが、こつこつと努力するタイプ。</p>
<p>1 〇 2 歴史 3 発表ができる授業 4 殿様がいなくなった 髪形 5 四民平等その後の差別はなかったのか 6 わかったことを積極的に発言できる。</p>	<p>1 〇 2 歴史 3 先生の話聞く 4 髪形 5 有名な人どんな人が活躍したのか知りたい 6 現在の社会に興味をもっている。</p>	<p>1 〇 2 地理 3 図や表をまとめる 4 文明が開けた 5 人々の生活みじかき生活を知りたい 6 ノートなどを工夫してきれいにまとめている。</p>	<p>1 〇 2 歴史 3 ビデオを見る 4 髪形、役職 5 明治維新新選組で活躍した人物を知りたい 6 気分にむらがあるが、素朴な質問や発言をしたりする。</p>	<p>1 〇 2 歴史 3 ビデオを見る 4 髪形 5 人々の生活生活の変化を知りたい 6 歴史の事例に興味をもち、わかかったことがあると、すぐに手を挙げ発言する。</p>
<p>1 △ 2 地理 3 ビデオを見る 4 戦争が多い 髪形 5 人々の生活今の生活との違いを知らりたい 6 めんどくさがることもあるが、わかると手を挙げて発言する。</p>	<p>1 △ 2 歴史 3 自分でまとめる 4 外国人が来た 5 版籍奉還何のことだかわからないから 6 人物などの名称を覚えるのが得意。</p>	<p>1 〇 2 地理 3 図や表をまとめる 4 戦争があった 5 人々の生活おもしろそうだから 6 わかったことは手を挙げて発言する。</p>	<p>1 △ 2 地理 3 自分でまとめる 4 天皇に政権を返した 5 文化どんな文化があったか知りたいたい 6 やや点数にこだわるとうとうとうと見たりするのが好き。</p>	<p>1 〇 2 歴史 3 班で調べる 4 西洋からの影響 5 戊辰戦争戦争について興味があるから 6 歴史で勉強したところなどに訪れたいと考えている。</p>
<p>1 〇 2 歴史 3 班で調べる 4 テレビ 5 人々の生活今の生活との違いを知りたい 6 あまり発言はしないが、ノートなどしっかりまとめている。</p>	<p>1 〇 2 地理 3 先生の話聞く 4 髪形 5 外国との関係外国との関係を知りたい 6 あまり発言はしない。地図を見たりするのは得意。</p>	<p>1 〇 2 地理 3 討論や話し合い 4 天皇が一番偉い 5 文明開化小学校の印象から写真などから、興味をもっている。ノートのまとめは工夫されている。</p>	<p>1 〇 2 地理 3 プリントを使う 4 髪形服装 5 明治維新一番覚えていたこと 6 意欲的にやろうと心がけている。ノートをよくまとめている。</p>	<p>1 〇 2 地理 3 自分でまとめる 4 鎮国がなくなった 5 人々の生活今との違いを知りたい 6 作業がやや遅いところもあるが、ノートなどはきちんとまとめている。</p>
<p>1 △ 2 歴史 3 プリントを使う 4 洋服になった 5 版籍奉還読み方、意味がわかかった 6 調べてまとめるより、自分で考えて学習するほうが得意。</p>	<p>1 〇 2 地理 3 班で調べる 4 髪形 刀をもたない 5 外国との関係外国とのかわりを知りたい 6 班活動では中心的人物。授業も積極的。</p>	<p>1 〇 2 地理 3 自分で課題をもち調べる 4 電灯、牛糞 5 文明開化よくわからないうちから自分で考える姿勢ができてくる。ノートもよくまとめられている。</p>	<p>1 〇 2 地理 3 プリントを使う 4 食べ物、町、服装 5 文化江戸時代と違いが知っていた 6 授業は積極的で、課題に取り組もうと努力している。</p>	<p>1 〇 2 地理 3 自分でまとめる 4 刀をもつ人が減った 5 文明開化日本の変化を知りたい 6 地図などを書くのが好きである。</p>

## 5. 研究の成果と今後の課題

いきいきマイスクール インとちぎの研究はまだ始まったばかりである。今回は中間報告という形を取った。これまでは主に特別活動の研究が主であった。その結果、生徒に主体的な行動が見られるようになった。学校行事や生徒会主催の行事では、リーダーを中心にいろいろな企画を出せるようになるとともに、その運営も円滑にできるようになった。その成果を友愛訪問等の紹介という形で平成7年度の教育論文に掲載していただいた。

今年度から授業研究に取り組むことにした。教科指導においてできる限り教師の解説を省き、生徒自らの調べ学習を増やす方向に持っていかうということになった。この学び方を学ばせる学習は自己教育力の育成につながると考えた。まだまだ研究の緒についたばかりであるが、生徒に少しずつ意欲的な学習態度が見られるようになった。何をしたらよいか分からないでいる生徒に個別指導できるチャンスも増えてきた。

今後の課題として、効果的な班別学習設定とそのリーダーの養成を図ること。また、単元や本時の学習への興味・関心をいかに引き出すか。学習課題等の設定の工夫など教科指導面でもう一步踏み込んだ実践が必要と思われる。

## 評

「3あい運動」は、平成8年度から第2ステージをむかえ、新しい学力観との関わりの中で日々の授業が展開されることや、PTA活動や家庭、地域社会において広がりや深まりをもたせることが一層重視されています。

このような時期にあって、第一中学校は「3あい運動」の重要施策のひとつである「いきいきマイスクールイン とちぎ」推進事業に全校態勢で積極的に取り組み、「豊かな心を持ち、主体的に生きようとする生徒の育成」の学校課題解決に向け、実践記録をまとめられました。

特に、第一中学校では、学習指導や特別活動に重点を置いた教育実践に取り組んでいます。

まず、特別活動での取り組みですが、生徒の自主的な活動のもと、友愛訪問、クリーン運動、運動会へのお年寄りの招待、ボランティアスクールへの参加等、豊かな体験の場が、計画的に位置付けられていることです。友愛訪問の実践における生徒の感想文からは、明るく生きていくおばあさんとのふれあいを通して、これからも長生きしてほしいと願うやさしい生徒の心情が伝わってきます。このような豊かな心の動きが起ころ体験こそが、豊かな体験であり、豊かな心を育むことにつながると思います。

次に、学習指導についての取り組みですが、新しい学力観にもとづく社会科（歴史的分野）における授業実践例が紹介されています。生徒の主体的な学習活動の場や機会をできるだけ多く設定したり、作業用紙や作業ノートを利用したりするなど、個に応じた学習の成立を図る工夫をしています。生徒が、自分の考えや思いに基づいて、これまでの学習や生活の経験、よさや可能性などを生かしながら新しい課題などを見付け、自ら判断したり、試みたり、表現したりして解決する授業を展開することは、大切なことです。そして、第一中学校では、これらの授業実践を通して教師の指導観の転換を図る努力を積み重ね、教師の資質の向上を目指しています。

本研究における数々の成果が、各学校において大いに活用されることを期待しています。